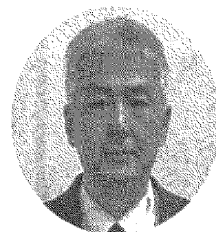


「管診鏡」で地上から点検調査が可能に

管路診断コンサルタント協会事務局長 長島 隆幸



昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止において、本協会では会員サービス向上のため、オンライン形式のウェブセミナーによる講習会等をウィズコロナの方針のもとで引き続き、進めていきたいと考えております。

一方で、昨年11月から「管診鏡」の販売を開始しております。一般に劣化・老朽化した下水管路の修繕・改築に係る調査・設計を行う際には、管路の現況把握等のためにマンホール内へ作業員が入孔します。これらの作業に高機能で低価な高解像カメラ内蔵の機器「管診鏡」を用いることで、地上から管路施設内の点検調査が可能となります。入孔することが困難な環境下においてもご活用頂ければと存じます。詳細につきましては本協会のホームページ<https://kanshinkyou.jp/>をご覧ください。